

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	三つの木の家管理運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 衛藤 剛
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備		所属班	生涯学習班	(内線) 2432
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始
	1	10	5	5	10833		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H1 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 三つの木の家施設全般の消耗品、備品補給や施設各所の営繕、維持管理を行い、市民が利用しやすい施設環境を整える。							
【主な予算費目】 報酬(管理員相当分)、需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費)、役員費、委託料、使用料及び賃借料、原材料費							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ①(物件費)寝具リース、クリーニング、ボイラー点検修繕、芝広場の管理、各種公共料金の支払い等 ②(人件費)施設管理員1名への報酬	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ①20年度と同様の維持管理業務 ②敷地内の高木剪定 ③ボイラー安全弁の修繕
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 施設利用者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 人件費、物件費の事業費実績額 円 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 三つの木の家の施設を快適に利用してもらう。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 施設利用者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 活動する場がある。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 施設利用時に快適さに欠けると思う利用者数 人 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習に親しむ施設が整っていると思う市民の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	4,968	4,930	4,537	3,763	5,098	5,000		5,000
		(A) 事業費計	千円	4,968	4,930	4,537	3,763	5,098	5,000		5,000
		うち指定経費	千円	507	507	507	507	272	272		272
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		トータルコスト(A)+(B)	千円	7,152	7,119	5,811	5,176	6,451	6,274		6,274
活動指標	ア イ 円	7152千	7119千	5336千	5176千	6451千	6674千	6674千			
対象指標	ア イ 人	4042	3374	4000	4173	4000	4000	4000			
成果指標	ア イ 人	未調査	未調査	未調査	2	10	9	8			
上位成果指標	ア イ %	57.5	65.7	58.5	62.8	59	60				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成元年4月に三つの木の家が開館し(学校教育施設として)、施設の維持管理が必要となった。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成11年度から、社会教育施設として再スタートし、旧合志町地域の学校だけでなく、住民団体の活動にも使用できるようになった。
また、合併後は旧西合志町地域の学校、住民にも使用できるようになった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特に聞いていない。

事務事業名	三つの木の家管理運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 施設設備の維持管理は、利用者(市民)に学習会場を提供する上で必要最小限のサービスであり、生涯学習振興の基本的な事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 施設の経年劣化により維持管理費用はかさんでいくが、地域住民の生涯学習の拠点として利用をしていただく以上、必要最小限の維持管理は行政の責任で行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象：対象を市民から施設利用者に絞ることが必要であるから。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 施設の利便性向上を図り、市民が利用しやすい施設であるためには、常に時代の要請にあった施設を考えていかななくてはならないが、それには多額の投資も必要である。 現在は厳しい財政事情で必要最小限の施設維持のみ行っているため、施設の近代化が追いついていない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 施設の維持管理を怠ると、多数の利用者に不快感を与え、老朽化は進み、施設自体の安全性を欠くことになり、市民に危険な施設を提供し続けることになる。 市民の安全確保のためにも計画的に事業を進めるべきである。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 当施設と目的が類似しており、宿泊可能である研修施設が他に無いため。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 平成20年度より管理人を1名減らし、光熱費も利用者の協力のもと削減に取り組んでいる。 しかし、開館から20年が経過し空調、ボイラー、その他事務機器の経年劣化による修繕が今後必要になってくると考えられる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 管理業務のほとんどを嘱託の管理員及び指導員に任せており、正職員は最低限の事務を行っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 施設利用の市民には、受益者負担の原則に従い、施設に維持管理の一端を担っていただくため、施設使用料の負担をいただいております、利用者による適正な維持管理に貢献しており公平公正であると考えます。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性、④公平性については妥当であると考えられる。 ①目的妥当性については、施設利用者に絞ることが必要である。 ②有効性については、施設の修繕が必要な部分があるので、計画的に整備する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 施設設備の経年劣化によりボイラー修繕、空調の整備、コピー機の入れ替え、高木剪定等が必要になるので、計画的に整備を行う。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 厳しい財政状況の中であるが、上記のような投資については優先して予算化できるように配慮すべきである。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)